



生活困窮者自立支援全国ネットワークでは、随時、会員 す。私たちと一緒に誰もが暮らしやすい 社会づくりをしていきませんか?詳しくはホームページ (https://life-poor-support-japan.net) をご覧ください。

# 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

多重不安の時代にあって 生活困窮者自立支援制度と伴走型支援を問う

2022年 11月19日 [土]

発行:2022年11月9日

見どころ・聞きどころ

地域づくり 10:00 ~ 12:00

### 「生活困窮者自立支援事業と 地域づくり

#### 事例発表・パネラー

①大阪狭山市社会福祉協議会 事務局長

津田 和宏

②NPO法人アットマークリアスNPOサポートセンター 理事·事務局長

川原 康信

③東広島市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 兼 相談支援係長

岡村 智行

④日本福祉大学社会福祉学部 教授

原田 下樹

コーディネーター

渋谷 篤男 ⑤日本福祉大学福祉経営学部(通信教育) 教授

相談支援、参加支援、地域づくりの「一体的推進」は、社会 的孤立の課題が大きいことを踏まえれば、きわめて重要な考え 方となります。しかし、相談支援と参加支援をつなぐことは比 較的想定しやすいのですが、それを地域づくりと結びつけるこ とは難しく、人によって、組織によって、考え方や方法がかなり 異なっているのではないでしょうか。

実は異なっているのが当然で、ときに衝突する……しかし、 けんか別れにならない程度に連携するということかもしれませ

この分科会は、相談支援・参加支援と地域づくりをつなげる こと、そして地域づくりでどのような連携をつくるかを生活困窮 者自立支援事業の立場で考えます。

(企画担当者:渋谷篤男)

## 見どころ・聞きどころ

子ども・若者支援 14:00 ~ 16:00

# 「「プッシュ型」「アウトリーチ型」 支援への 「転換」にどう向き合うのか?」

子ども基本法の成立や子ども家庭庁の創設と、現在子ど も・若者支援は大きな転換点を迎えています。そのなかで、 いかに縦割りをこえて、必要な支援を届ける「プッシュ型」 「アウトリーチ型」に転換をしていけるのでしょうか?

本分科会では、前半で虐待対策の第一人者である大分大 学の相澤仁教授と子どもの虐待防止センターの奥山眞紀 子氏をお迎えし、子ども支援施策の流れと現状をご紹介い ただき、議論を深めていきます。後半は、全国ネットワーク 社員である NPO 法人インクルいわての山屋理恵氏から 実践報告をいただき、今後現場はどう変わっていくのか、 変わっていくべきなのか、現場の視点から考えます。

政策と支援現場、両面からの報告と議論を通じ、困窮す る子ども・若者支援の今後を展望します。

(企画担当者:鈴木晶子)

#### パネラー

①大分大学福祉健康科学部 教授

相澤

②社会福祉法人子どもの虐待防止センター 理事

奥山眞紀子

③認定NPO法人インクルいわて 理事長

山屋 理恵

### コメンテーター

④認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス (S.S.F.) 代表理事

谷口(仁史)

#### コーディネーター

⑤NPO法人パノラマ 理事

鈴木 晶子

